

# 平成5年 茨城県県民生活地域調査結果の概要(その1)

—— 現在地に将来も住みたいと考えている世帯は67.7% ——

## はじめに

「茨城県県民生活地域調査」は、平成3年から隔年に実施している本県独自の調査であり、今回が2回目となります。

本県では、豊かで均衡のとれた郷土づくりをめざして各般にわたる施策の展開を図っているところですが、きめ細かな地域政策を推進していくために必要な「生活圏レベル」のデータ及び地域の特性をとらえるデータが大変少ないという問題意識のもとに、この調査を計画しました。

調査の内容については、2回の調査で1セットとしています。共通事項としては、世帯員の年齢・性別・教育・医療保険・就業状況等、住居の状況、耐久消費財の保有・使用の状況等を調査します。

これに加えて、初年度の平成3年は、飲料水の状況、受診状況、余暇の活用状況等を調査し、今回は、地域コミュニティ、居住環境、ボランティア活動の状況、能力開発状況、ごみ問題等を調査しました。

この平成3年と平成5年の調査項目を5年毎に繰り返して調査するというのが基本的な考え方で、調査の特徴としては、その結果を新計画の5つの地域区分(県北・県央・鹿行・県南・県西)別に表章できるように設計したことです。

調査を始めて間もないため、調査内容や表章方法などに改善の余地があるとは思いますが、豊かで暮らしやすい地域社会を実現するための基礎資料として御活用いただければ幸いです。

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

豊かで均衡のとれた郷土づくりをめざし、県

民の社会生活の実態及び意識並びにその地域差(5地域—県北・県央・鹿行・県南・県西)を明らかにするための基礎資料を得る。

### 2. 調査の根拠

茨城県統計調査条例(昭和36年茨城県条例第16号)に基づいて定められた茨城県県民生活地域調査規則(平成3年茨城県規則第55号)による。

### 3. 調査の期日

平成5年11月1日現在

### 4. 調査の対象

県内全域から抽出する世帯及びその世帯員

6,267世帯(回収率96.4%)

世帯員数 23,539名

### 5. 調査の方法

調査員が世帯を訪問して調査票を配布し、世帯において記入した調査票を取り集める方法で実施した。

## 調査結果の概要

### 1. 地域コミュニティ

#### (1) 催し等への参加状況

自治会等への参加率は県北地域が最高

調査対象世帯の地域の催し種類別の参加状況をみると、「自治会」への参加が71.9%、「お祭り」が55.7%、「省資源」が45.2%、「スポーツ」が29.6%、「教育・文化」が18.1%、「自主防災」が16.1%となっている。

地域別にみると、「自治会」の参加は県北地域で77.3%と高くなっているが、県南地域では65.9%に留まっている。また、「スポーツ」「お祭り」については、県西地域が33.6%、61.8%とそれぞれ高く、「省資源」「自主防災」については、鹿行地域の参加率が49.9%、20.4%と高かった。(表-1)

表一 地域の催し種類別参加世帯数

(単位：世帯，%)

地域	項目	催し種類		合 計	自治会	教育・文化	スポーツ	省 資 源	自主防災	お 祭 り
		世帯数	割合							
県 計	世帯数	6 267		6 267	4 509	1 133	1 856	2 832	1 010	3 492
	割合		100.0		71.9	18.1	29.6	45.2	16.1	55.7
県 北	世帯数	1 416		1 416	1 095	265	454	655	229	757
	割合		100.0		77.3	18.7	32.1	46.3	16.2	53.5
県 央	世帯数	928		928	689	152	267	413	125	485
	割合		100.0		74.2	16.4	28.8	44.5	13.5	52.3
鹿 行	世帯数	912		912	661	173	276	455	186	512
	割合		100.0		72.5	19.0	30.3	49.9	20.4	56.1
県 南	世帯数	1 773		1 773	1 169	315	443	757	303	973
	割合		100.0		65.9	17.8	25.0	42.7	17.1	54.9
県 西	世帯数	1 238		1 238	895	228	416	552	167	765
	割合		100.0		72.3	18.4	33.6	44.6	13.5	61.8

(注) 複数回答のため、合計は総世帯数と一致しない。

(2) 近所付き合いの程度

県西地域で近所付き合いが最も良好

調査対象世帯の近所付き合いの程度をみると、「日頃から相談等をする」が35.3%で最も高く、「親しく話をする」の21.2%を加えると5割を超える。その他「立ち話ぐらい」が27.6%、「あいさつぐらい」が

12.7%、「付き合いなし」が2.5%等となっている。

地域別にみると、県西地域において「日頃から相談等をする」、「親しく話をする」が共に高い値(39.3%、25.2%)を示している。また、「付き合いなし」は県南地域で4.2%とやや高くなっている。(表一2)

表一2 近所付き合いの程度別世帯数

(単位：世帯，%)

地域	項目	程度		合 計	付き合いなし	あいさつぐらい	立ち話ぐらい	親しく話をする	日頃から相談等をする	分らない	未記入	秘匿・不明
		世帯数	割合									
県 計	世帯数	6 267		6 267	156	794	1 727	1 326	2 213	47	1	3
	割合		100.0		2.5	12.7	27.6	21.2	35.3	0.7	0.0	0.0
県 北	世帯数	1 416		1 416	12	172	420	292	509	9	1	1
	割合		100.0		0.8	12.1	29.7	20.6	35.9	0.6	0.0	0.1
県 央	世帯数	928		928	26	136	293	202	266	4	—	1
	割合		100.0		2.8	14.7	31.6	21.8	28.7	0.4	—	0.1
鹿 行	世帯数	912		912	13	115	258	191	323	12	—	—
	割合		100.0		1.4	12.6	28.3	20.9	35.4	1.3	—	—
県 南	世帯数	1 773		1 773	74	239	486	329	628	16	—	1
	割合		100.0		4.2	13.5	27.4	18.6	35.4	0.9	—	0.1
県 西	世帯数	1 238		1 238	31	132	270	312	487	6	—	—
	割合		100.0		2.5	10.7	21.8	25.2	39.3	0.5	—	—

## ■ 調査から

### (3) 町内会等の状況

町内会はあった方がよいと

考えている世帯が8割弱

町内会等のまとまりの状況についてみると、「まとまりは強い」と考えている世帯は全体の49.3%、「まとまりは弱い」と考えている世帯は20.9%、「わからない」と回答した世帯は29.7%であった。

地域別にみると、「まとまりは強い」と考えている世帯は鹿行・県西地域で比較的高く(それぞれ53.1%、52.7%)、逆に県央・県南地域では低くなっている(それぞれ46.2%、46.6%)。(表—3)

町内会等のまとまりが弱いと回答した世帯(計1,311世帯)に対し、その原因について尋ねたところ、「(町内会等に)係わっている

表—3 町内会のまとまりの強弱別世帯数

(単位：世帯、%)

地域	項目	程度		合計	まとまりは強い	まとまりは弱い	わからない	未記入	秘匿・不明
		項目	程度						
県計	世帯数			6 267	3 090	1 311	1 861	4	1
	割合			100.0	49.3	20.9	29.7	0.1	0.0
県北	世帯数			1 416	698	318	398	1	1
	割合			100.0	49.3	22.5	28.1	0.1	0.1
県央	世帯数			928	429	209	290	—	—
	割合			100.0	46.2	22.5	31.3	—	—
鹿行	世帯数			912	484	148	279	1	—
	割合			100.0	53.1	16.2	30.6	0.1	—
県南	世帯数			1 773	827	404	541	1	—
	割合			100.0	46.6	22.8	30.5	0.1	—
県西	世帯数			1 238	652	232	353	1	—
	割合			100.0	52.7	18.7	28.5	0.1	—

表—4 町内会のまとまりの弱い原因別世帯数

地域	項目	程度		合計	ひまがない	自分勝手な人が多い	考え方が違う	無関心な人が多い	リーダーがない	古いしきたり等のため
		項目	程度							
県計	世帯数			1 311	337	131	189	181	157	116
	割合			100.0	25.7	10.0	14.4	13.8	12.0	8.8
県北	世帯数			318	76	32	53	36	36	29
	割合			100.0	23.9	10.1	16.7	11.3	11.3	9.1
県央	世帯数			209	49	23	31	35	34	12
	割合			100.0	23.4	11.0	14.8	16.7	16.3	5.7
鹿行	世帯数			148	38	22	16	25	19	11
	割合			100.0	25.7	14.9	10.8	16.9	12.8	7.4
県南	世帯数			404	104	25	64	60	43	31
	割合			100.0	25.7	6.2	15.8	14.9	10.6	7.7
県西	世帯数			232	70	29	25	25	25	33
	割合			100.0	30.2	12.5	10.8	10.8	10.8	14.2

ひまがない」が25.7%と最も高く、次いで「考え方が違う」(14.4%)、「無関心な人が多い」(13.8%)、「リーダーがいない」(12.0%)、「自分勝手な人が多い」(10.0%)の順となった。

地域別にみると、県央・鹿行地域で「無関心な人が多い」「リーダーがいない」が「考え方が違う」をそれぞれ上回った。(表-4)

「町内会はあったほうがよいか」という問いに対しては、「あった方がよい」が77.9%、「ない方がよい」が1.9%、「どちらともいえない」が20.1%となった。

地域別にみると、県北地域では「あった方がよい」との回答が5地域中最も高く(80.1%)、逆に県南地域では75.7%と最も低くなっている。(表-5)

表-5 町内会等の有無希望別世帯数

(単位：世帯，%)

地域	項目	有無希望		合計	あった方がよい	ない方がよい	どちらともいえない	未記入	秘匿・不明
		世帯数	割合						
県計	世帯数	6 267		6 267	4 880	119	1 262	3	3
	割合		100.0		77.9	1.9	20.1	0.0	0.0
県北	世帯数	1 416		1 416	1 134	22	259	1	—
	割合		100.0		80.1	1.6	18.3	0.1	—
県央	世帯数	928		928	717	16	192	—	3
	割合		100.0		77.3	1.7	20.7	—	0.3
鹿行	世帯数	912		912	711	15	186	—	—
	割合		100.0		78.0	1.6	20.4	—	—
県南	世帯数	1 773		1 773	1 342	49	381	1	—
	割合		100.0		75.7	2.8	21.5	0.1	—
県西	世帯数	1 238		1 238	976	17	244	1	—
	割合		100.0		78.8	1.4	19.7	0.1	—

表-4 つづき

(単位：世帯，%)

催し物が少ない	施設が少ない	地域内の対立のため	自治会や町内会がない	地域のための活動が不足	その他	わからない	秘匿・不明
21	36	15	15	11	43	57	2
1.6	2.7	1.1	1.1	0.8	3.3	4.3	0.2
8	11	4	3	3	7	19	1
2.5	3.5	1.3	0.9	0.9	2.2	6.0	0.3
3	7	1	—	2	1	10	1
1.4	3.3	0.5	—	1.0	0.5	4.8	0.5
3	3	—	—	3	5	3	—
2.0	2.0	—	—	2.0	3.4	2.0	—
4	10	7	11	2	24	19	—
1.0	2.5	1.7	2.7	0.5	5.9	4.7	—
3	5	3	1	1	6	6	—
1.3	2.2	1.3	0.4	0.4	2.6	2.6	—

## ■ 調査から

### 2. 居住環境

#### (1) 将来の居住希望

現在地に引き続き住みたいと

考えている世帯は7割弱

調査対象世帯で、現在居住している箇所に「将来も住みたい」と回答したのは、全体の67.7%である。また、「できれば移りたい」は14.2%、「どちらともいえない」は18.1%で

あった。

地域別にみると、県西地域で「将来も住みたい」が72.3%と比較的高く、県央地域で63.9%とやや低くなっている。(表—6、図—1)

現在住んでいるところに「将来も住みたい」と回答した4,244世帯に、その理由について尋ねたところ、「自分の家や土地があるから」

表—6 将来の居住希望別世帯数

(単位：世帯、%)

地域	居住希望		合 計	将来も住みたい	できれば移りたい	どちらともいえない	未 記 入	秘匿・不明
	項目							
県 計	世 帯 数	6 267	4 244	889	1 132	2	—	
	割 合	100.0	67.7	14.2	18.1	0.0	—	
県 北	世 帯 数	1 416	942	246	226	2	—	
	割 合	100.0	66.5	17.4	16.0	0.1	—	
県 央	世 帯 数	928	593	170	165	—	—	
	割 合	100.0	63.9	18.3	17.8	—	—	
鹿 行	世 帯 数	912	637	100	175	—	—	
	割 合	100.0	69.8	11.0	19.2	—	—	
県 南	世 帯 数	1 773	1 177	218	378	—	—	
	割 合	100.0	66.4	12.3	21.3	—	—	
県 西	世 帯 数	1 238	895	155	188	—	—	
	割 合	100.0	72.3	12.5	15.2	—	—	

表—7 住みたい理由別世帯数

地域	住みたい理由		近くに親戚等 が いる	自然環境がよい	通勤通学に 便 利	生まれ育った ところだから	公共施設が 整っている	永年住みなれ 愛着がある
	項目							
県 計 (4,244世帯)	世 帯 数	1 675	1 506	575	1 675	118	2 014	
	割 合	39.5	35.5	13.5	39.5	2.8	47.5	
県 北 ( 942世帯)	世 帯 数	348	367	128	376	13	486	
	割 合	36.9	39.0	13.6	39.9	1.4	51.6	
県 央 ( 593世帯)	世 帯 数	199	199	123	201	30	280	
	割 合	33.6	33.6	20.7	33.9	5.1	47.2	
鹿 行 ( 637世帯)	世 帯 数	277	227	82	270	24	259	
	割 合	43.5	35.6	12.9	42.4	3.8	40.7	
県 南 (1,177世帯)	世 帯 数	448	477	157	399	40	516	
	割 合	38.1	40.5	13.3	33.9	3.4	43.8	
県 西 ( 895世帯)	世 帯 数	403	236	85	429	11	473	
	割 合	45.0	26.4	9.5	47.9	1.2	52.8	

(注) 複数回答(3つ以内)

が64.0%で最も高く、以下「永年住みなれ愛着がある」が47.5%、「近くに親戚等がいる」「生まれ育ったところだから」がともに39.5%などとなっている。

地域別にみると、「自分の家や土地があるから」がいずれの地域でもトップとなっているが、それ以下の順位については、地域によって若干の違いが出ている。(表-7)

図-1 将来の居住希望別世帯数

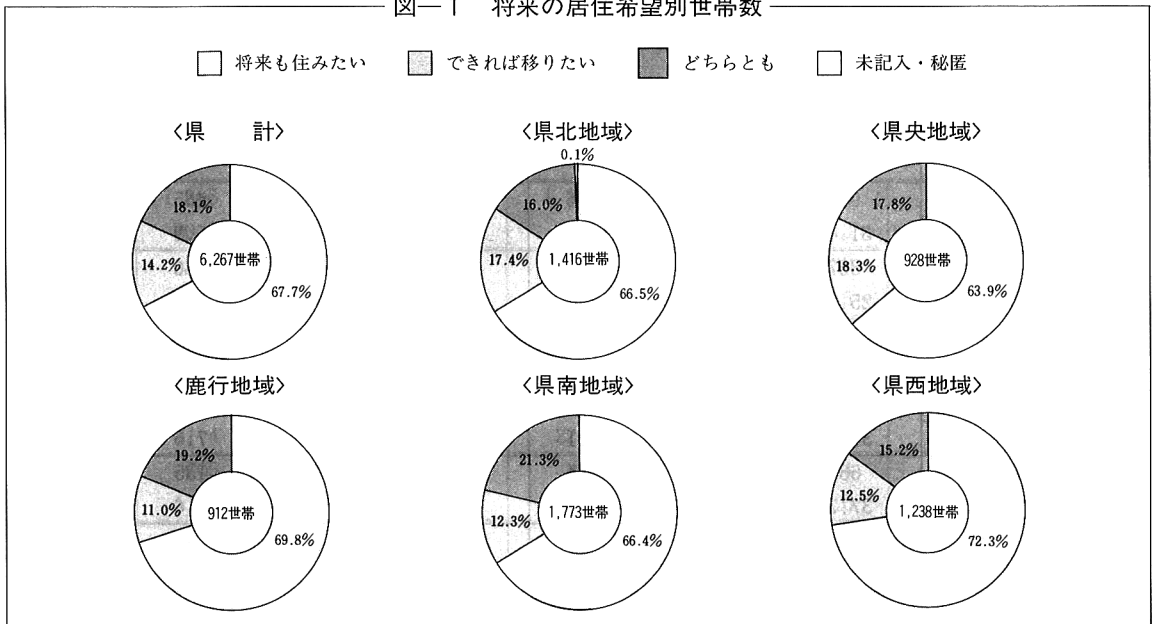


表-7 つづき

(単位：世帯，%)

自分の家や土地がある	買物に便利	仕事や商売、学校の関係	近所付き合いが良	ま ち の 霧 囲 気 が 好 き	わからない	そ の 他	秘 匿 ・ 不 明
2 715	384	325	720	173	16	74	5
64.0	9.0	7.7	17.0	4.1	0.4	1.7	0.1
580	65	77	166	27	4	17	2
61.6	6.9	8.2	17.6	2.9	0.4	1.8	0.2
364	108	40	100	39	2	7	—
61.4	18.2	6.7	16.9	6.6	0.3	1.2	—
402	53	60	91	21	3	13	—
63.1	8.3	9.4	14.3	3.3	0.5	2.0	—
772	110	92	198	61	3	30	3
65.6	9.3	7.8	16.8	5.2	0.3	2.5	0.3
597	48	56	165	25	4	7	—
66.7	5.4	6.3	18.4	2.8	0.4	0.8	—

## ■ 調査から

### (2) 日頃不満に感じていること

#### 居住環境の不満のトップは下水道の未整備

現在住んでいる地域のことで、日頃不満を感じていること別にみると、「下水道の未整備」が32.2%、「交通が不便」が31.4%、「医療施設が少ない」が24.1%、「文化・娯楽施設

が少ない」が22.8%、「いこいの場が少ない」が20.8%などとなっている。

地域別にみると、県計とほぼ同様の傾向を示しているが、県南地域では「交通が不便」(37.7%)が「下水道の未整備」(27.3%)を上回るなどの特徴も見られる。(表—8)

表—8 日頃感じていること別世帯数

地域	感じていること		交通が不便	買物が不便	騒音や悪臭	住宅の過密	自然が少ない	教育施設が少ない	医療施設が少ない
	項目								
県 計 (6,267世帯)	世帯数	1 966	1 252	906	350	285	435	1 512	
	割合	31.4	20.0	14.5	5.6	4.5	6.9	24.1	
県 北 (1,416世帯)	世帯数	367	322	176	77	37	86	393	
	割合	25.9	22.7	12.4	5.4	2.6	6.1	27.8	
県 央 ( 928世帯)	世帯数	186	120	168	74	61	47	135	
	割合	20.0	12.9	18.1	8.0	6.6	5.1	14.5	
鹿 行 ( 912世帯)	世帯数	337	173	129	25	26	69	329	
	割合	37.0	19.0	14.1	2.7	2.9	7.6	36.1	
県 南 (1,773世帯)	世帯数	668	391	234	114	70	135	410	
	割合	37.7	22.1	13.2	6.4	3.9	7.6	23.1	
県 西 (1,238世帯)	世帯数	408	246	199	60	91	98	245	
	割合	33.0	19.9	16.1	4.8	7.4	7.9	19.8	

(注) 複数回答(3つ以内)

表—9 居住景観をそこねているもの別世帯数

地域	そこねているもの		空き缶やごみくずの散乱	雑然と止められた自転車	汚れた川や池	看板や広告塔	電柱・電線・鉄塔	雑然とした交通標識
	項目							
県 計 (6,267世帯)	世帯数	2 560	1 839	1 669	535	779	293	
	割合	40.8	29.3	26.6	8.5	12.4	4.7	
県 北 (1,416世帯)	世帯数	530	399	322	83	161	59	
	割合	37.4	28.2	22.7	5.9	11.4	4.2	
県 央 ( 928世帯)	世帯数	323	271	227	75	128	35	
	割合	38.4	29.2	24.5	8.1	13.8	3.8	
鹿 行 ( 912世帯)	世帯数	478	205	237	133	80	44	
	割合	52.4	22.5	26.0	14.6	8.8	4.8	
県 南 (1,773世帯)	世帯数	705	625	475	149	243	90	
	割合	39.8	35.3	26.8	8.4	13.7	5.1	
県 西 (1,238世帯)	世帯数	524	339	408	95	167	65	
	割合	42.3	27.4	33.0	7.7	13.5	5.3	

(注) 複数回答(3つ以内)

(3) 居住景観をそこねているもの

居住景観をそこねるものは

空き缶や紙くずの散乱とを感じる世帯が4割

現在住んでいる地域の居住景観をそこねているもの別にみると、「空き缶やごみくずの散乱」が40.8%、「雑然と止められた

自転車等」が29.3%、「汚れた川や池」が26.6%、「特にない」が22.7%などとなっている。

地域別にみると、鹿行・県西地域で「汚れた川や池」が「雑然と止められた自転車」を上回っているのが目立つ。(表-9)

表-8 つづき

(単位：世帯、%)

文化・娯楽施設が少ない	いこいの場が少ない	近くに働くところがない	公民館・集会場が少ない	道路の未整備	下水道の未整備	特にない	未記入	秘匿・不明
1 427 22.8	1 306 20.8	559 8.9	234 3.7	1 256 20.0	2 021 32.2	959 15.3	3 0.0	29 0.5
316 22.3	291 20.6	158 11.2	75 5.3	292 20.6	426 30.1	233 16.5	2 0.1	3 0.2
188 20.3	200 21.6	85 9.2	52 5.6	221 23.8	335 36.1	168 18.1	—	4 0.4
230 25.2	195 21.4	79 8.7	18 2.0	206 22.6	343 37.6	96 10.5	—	2 0.2
417 23.5	305 17.2	155 8.7	48 2.7	283 16.0	484 27.3	284 16.0	—	13 0.7
276 22.3	315 25.4	82 6.6	41 3.3	254 20.5	433 35.0	178 14.4	1 0.1	7 0.6

表-9 つづき

(単位：世帯、%)

緑の少ないまち並み	緑が削りとられた斜面	ブロック塀・汚れた壁	その他	特にない	わからない	未記入	秘匿・不明
327 5.2	220 3.5	233 3.7	658 10.5	1 422 22.7	354 5.6	17 0.3	56 0.9
58 4.1	49 3.5	59 4.2	148 10.5	395 27.9	100 7.1	4 0.3	5 0.4
61 6.6	30 3.2	53 5.7	112 12.1	225 24.2	40 4.3	2 0.2	12 1.3
43 4.7	65 7.1	22 2.4	94 10.3	181 19.8	49 5.4	1 0.1	4 0.4
62 3.5	59 3.3	34 1.9	162 9.1	369 20.8	96 5.4	7 0.4	16 0.9
103 8.3	17 1.4	65 5.3	142 11.5	252 20.4	69 5.6	3 0.2	19 1.5



## ■ 調査から

### (4) 施設建設への協力

#### 施設建設への協力意識は

##### 施設の種類により大きな差

施設建設への協力態度別にみると、次のとおりである。

「学校や文化会館など」については、建設に「協力したい」が51.3%となり、「条件によっては協力したい」の24.2%を加えると全世帯の4分の3を超えている。

地域別にみると、鹿行地域で「協力したい」(53.1%)、「条件によっては協力した

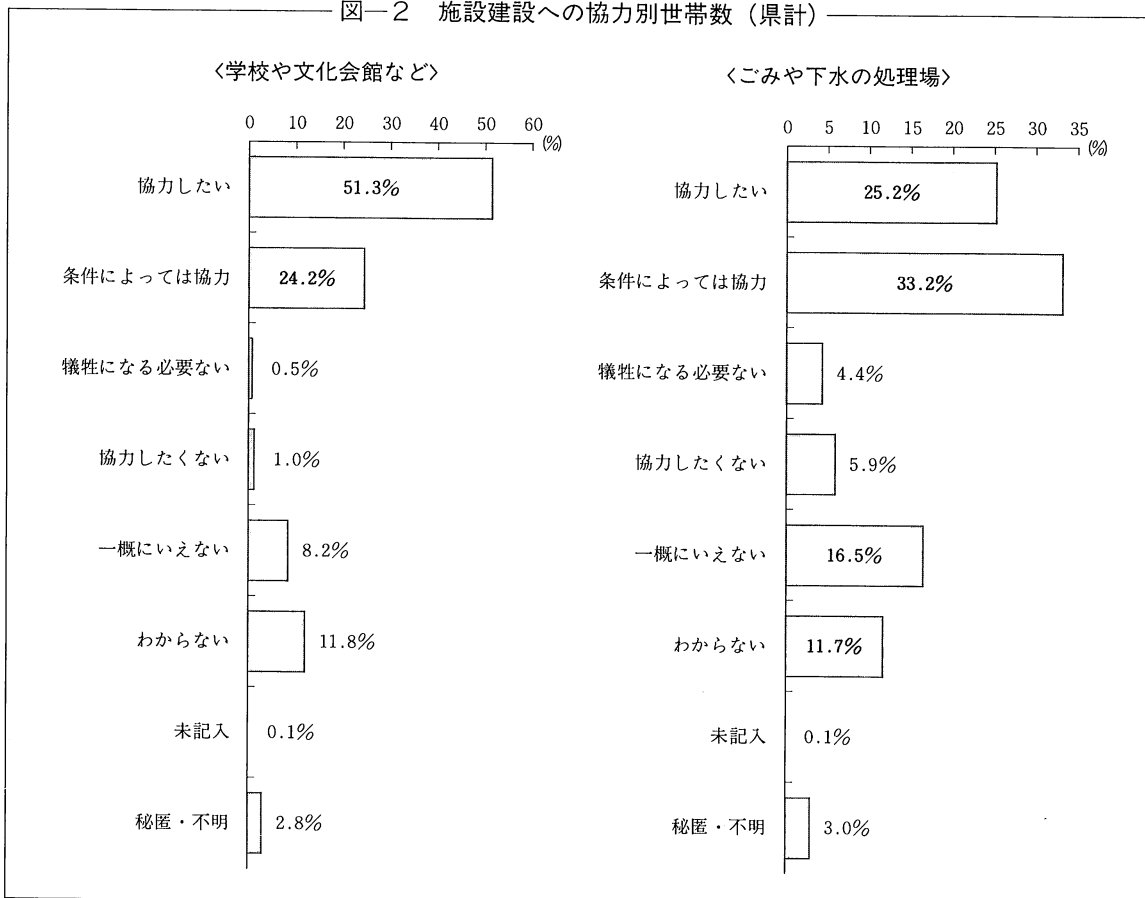
い」(24.6%)がともに他地域と比較して高くなっている。

「ごみや下水の処理場」については、「条件によっては協力したい」が最も高く(33.2%)、次いで「協力したい」(25.2%)、「一概にいえない」(16.5%)などとなった。

地域別にみると、鹿行地域で「条件によっては協力したい」(36.7%)、「協力したい」(29.3%)がともに高くなっており、合わせて約3分の2弱を占めている。

「産業廃棄物の処理施設」については、

図-2 施設建設への協力別世帯数（県計）



「一概にいけない」が20.9%で最も高く、以下「とにかく協力したくない」が19.4%、「条件によっては協力したい」が17.8%、「わからない」が16.7%などとなっている。

地域別にみると、県北地域で「とにかく協力したくない」が22.5%となり、「一概にいけない」の20.7%を上回っている一方、県央地域で「条件によっては協力したい」(20.2%)がわずかの差ながら最も高くなっている。

「斎場(火葬場)」については、「一概にい

えない」が23.5%で最も高く、次いで「わからない」が23.3%、「条件によっては協力したい」が17.5%、「とにかく協力したくない」が15.6%などとなっている。

地域別にみると、県北・県西地域では「わからない」が最も高くなり(それぞれ27.2%、27.5%)、鹿行地域では他の施設に対するのと同様に「協力したい」(14.5%)、「条件によっては協力したい」(20.7%)が比較的高くなっている。(図-2)

(統計課・消費生活グループ)

図-2 つづき

